

ホメオパシー 自然生活



みなさん子供を自然に育てたいと思いますよね。しかし、どの食べ物も添加物がいっぱい、環境汚染からは逃れることはできないし、予防接種や薬は使いたくないけど感染症は怖い……。そんな悩みを解決してしまいう方法、それがドイツ発祥の正真正銘の自然療法である「ホメオパシー」なのです。今回はそんなホメオパシーの第一人者である CHhom 学長（※1）の由井寅子さん（ニックネームとらこ先生）にインタビューしました。

とらこ先生は日本での活動を開始した1996年当初から予防接種への賛成（※2）、と、予防接種に代わるホメオパシーの予防を提唱し（※3）、自らもホメオパシー的生活を送り、本当に健康そのものでバイタリティーあふれている姿が印象的でした。

Q とらこ先生、子供たちの健康の問題について教えてもらえますか？

A これから日本を担う子供たちが健康を維持していくためには、親が賢くならねばなりません。ホメオパシー相談会に行く私の患者さんの多くは難病ですが、その70%が子供であるという事実！直面したとき愕然としました。何が子供たちを苦しめ、どうすれば健康に生かされるかを真剣に考えなければなりません。

健康を害するものとしてまず、は食の問題があげられます。農薬、食品添加物の害や種（遺伝子組み換えや雄性不稔）の問題、生念力と栄養に欠ける野菜の問題などです。PM2.5や放射能などの環境問題もあります。次に医学の問題です。予防接種と薬による症状の抑圧が大きき問題です。ステロイドなど薬そのものの害も深刻です。さらに心の問題があります。道徳や常

識で自分の正直な思いや感情を抑圧することで、悲しみ・怒っている自分が置き去りにされ、未解決な問題として残ります。これをインナーチャイラ（インナーチャ）と言います。インナーチャがいるから他の出来事に感情的に反応し苦しくなったり、さらに感情を抑圧し深い心の病気を作ってしまいます。

しかし、問題だらけと嘆かない事！ホメオパシーには解決法（希望）があります。

Q ホメオパシーについて簡単に説明してもらえますか？

A ホメオパシーは同種療法と訳される通り、病状と同種の症状を引き起こすものを微量とすることで自己治癒力を活性化させ、自らの力で治癒していく治療法です。ただし、微量と言っても原物質が全くなくなるまでアルコールで希釈し叩いてつくられるので（これをレメディー）といいます）、副作用は全くありません。しかし原物質の情報（アルコールに保存・増殖）は自己治癒力を刺激し異物の排出能力を著しく活性化させる働きがあります。これは異物の情報を入れることで体が異物ときちんと認識できるようになるからです。

まか不思議に思うかもしれませんが、論より証拠、現代医学



プロフィール
由井寅子

日本ホメオパシー医学協会会長 / カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー学長 / 農業生産法人日本愛愛自然農林株式会社代表 / 著書「ホメオパシーの実践とホメオパシーの創始者ハーネマンの研究は科学的に評価された」/ アーヒー・放送部・自問症など難病にも対応可能【ZENメソッド】とよばれる手法を確立。21世紀のホメオパシーを牽引する指導的なホメオパスとして、国内外から遠征が期待されている。著書、論文、訳書多数。